

祭

受け継がれる夏まつり

時が移り、時代が変わっても、地域に根ざした伝統的な行事は、郷土を愛する人から人々へ脈々と受け継がれていきます。

行方市には、伝統を守り、そして自然をめぐる厳粛な行事、華麗な祭りがあります。



山田地区で、7月29・30日に、山田祇園祭りが賑やかに行われ、山車が繰り出し、笛や鉦、太鼓による祇園囃子（山田ばやし）が奏でられました。
この祭りの最大の呼び物は、よそでは見られない荒々しい神輿振りです。神輿が暴れば暴れるほど神が喜び、豊作になり、病魔や災害から逃れることができると、いわれています。

暴れ神輿の

山田祇園



この山田祇園祭りは、山田八坂神社のまつりで、300年ほど前、この地に素戔嗚尊すさのおのみことの神輿が流れたことに始まるといわれます。
連日の猛暑の中、山車のひき手もこぎ手も汗だくになり、豊作と無病息災を祈願しました。

あらはら祭り



7月29・30日、古宿・新田地区「八坂神社」の祭礼が行われました。
初日の宵祭りでは、御輿を先頭に稚児こわらこ（藤野匠くん）や神職が行列をなして市内を練り歩き、2日目の本祭りでは馬場で馬（ヤマノオロチ）と御輿（スサノミコト）の勇ましい戦い「馬出し祭り」が繰り上げられました。
珍しいまつりを見ようと市内・市外から多くの方が訪れました。

馬出し祭り



現原小PTAと子ども会育成会では、毎年現原小学校校庭で「あらはら祭り」を開催し、子どもたちと地域の交流を行っています。
7月29日、大洗高校マーチングバンドの演奏で祭りが開幕しました。メンバーには、市内出身の生徒2名が在籍しており、演奏後、子どもたちと記念撮影をしました。
手品や消防車西乗車会、おはやしなど、たくさんイベントで盛り上がりました。